

# 第3学年「生き方」指導案

## 1 単元名 男女と自分

## 2 単元の目標

【分かる】男女にかかわる差別の存在や性的少数者に対する差別があり、実際に苦しんでいる人がいることが分かる。

【深める】仲間との語りを通して、「性」に対する自分のとらえ方を見つめ直し、個々の尊厳について思いを深めることができる。

【育む】まとめの活動を通して、偏見にとらわれず、その人の本質を見極め理解しようとする力を育むことができる。

## 3 単元指導計画

時	過程	ねらい	学習活動	★指導のポイント ○準備物
1	分かる(知・技)	自分たちに、男女の概念や役割に対して、固定観念があることが分かる。	<u>課題：男女の違いについて考えよう</u> ①「名医の話」を聞いて、不思議に思うことを話し合う。【全体】 ②「男女」には、それぞれどんなイメージがあるかを話し合う。【グループ】 ③それぞれの考えを交流する。【全体】 ④「男(女)なら…」というのが、本当に合っているのかを考える。【全体】 ⑤本時の感想を書く。【個人】	★感想用紙を回収後、机列表などにまとめ、生徒の心の変容をとらえていく。 ★名医の話を読んで、おかしいと思う点を話し合い、自分たちに固定観念があることをおさえる。 ★課題を提示する。 ★「男は仕事で稼ぐ」や「女は子育てをする」などの意見を取り上げ、果たして本当にその通りなのかを実例を基にして考えられるようにする。 ○資料「名医の話」、ワークシート、ホワイトボード等
2	分かる(主)	自分の性に対して悩みを抱える人たちがおり、それが差別や偏見によって引き起こされていることが分かる。	<u>課題：ビデオを通して、性について考えよう</u> ①DVD「あなたがあなたらしく」を視聴する。【全体】 ②感想を書く。【個人】	★感想用紙を回収後、机列表などにまとめ、生徒の心の変容をとらえていく。 ○DVD「あなたがあなたらしく」、ワークシート等
3	深める(思・判・表)	陽菜がなぜ悩まなければならぬのかを考えることを通して、性的少数者の問題の根底には、周囲の偏った見方があることに気付くと共に、自分の考えを見つめ直すことができる。	<u>課題：陽菜はなぜ悩んでいるのだろうか？</u> ①ビデオの内容を確認する。【全体】 ②陽菜が悩む原因を考えて書く。【個人】 ③書いた内容を交流し、それぞれがどんな思いをしているのかを考える。【グループ】 ④◎「葛藤」を生み出す発問【あなたが陽菜の立場なら、今後どうしますか。】 ⑤◎「語り」を生み出す活動【友達に「伝える」、「伝えない」、「悩む」と立場をはっきりさせて交流する。】 ⑥本時の感想を書く。【個人】	★からかってくる同級生のように、周囲からの目や、人から避けられることを陽菜が心配していると気付けるようにする。 ★交流の中で、「みんな」「周りの人」など傍観的な言葉を位置付けていく。 ★「自分が」どうだろうか考えることで、他人事ではなく、自分の心と向き合わせる。また、自分も「周りの人」と同じような偏った見方をもっていないかを考えられるようにする。 ○ワークシート、ホワイトボード等
4	深める(思・判・表)	雄輔がカミングアウトした理由を考えることを通して、性的少数者の問題の根底には、周りの理解の欠如があることに気付き、自分の考えを見つめ直すことができる。	<u>課題：雄輔はなぜカミングアウトをする決心をしたのだろうか？</u> ①ビデオの内容を確認する。【全体】 ②カミングアウトした原因を考える【個人】 ③書いた内容を交流し、それぞれがどんな思いをしているのかを考える。【グループ】 ④それぞれ意見を交流する。【全体】 ⑤◎「葛藤」を生み出す発問【もし自分が雄輔の立場なら、カミングアウトしますか。】 ⑥◎「語り」を生み出す活動【自分なら「カミングアウトする」、「カミングアウトしない」、「悩む」と立場を分け意見を交流する。】 ⑦本時の感想を書く。【個人】	★原因を考える中で、女性上司の存在に焦点化し、女性上司のどんな態度や考えが、カミングアウトを促したのかを考えられるようにする。 ★先輩の言動が、雄輔の個人の尊厳を傷つけていることをおさえる。 ★自分が雄輔の立場になって考えることで、周りの偏見がいかに大きいものであるかを考えるとともに、そうした偏見が自分にもあるかどうかを考えられるようにする。 ○ワークシート、ホワイトボード等
5			本時	
6	育む(主)	一連の学習の振り返りやDVDの視聴を通し、性の多様性を理解すると共に、自他を大切にすることを育む。	<u>課題：ビデオを見て、自分の思いをもとう</u> ①これまでの学習を振り返る。【全体】 ②DVD「長崎のカップル」を視聴する。【全体】	★前時までの感想などを取り上げながら、一連の学習を振り返る。 ○DVD「長崎のカップル」
7	育む(主)	一連の学習の振り返りやDVDの視聴を通し、性の多様性を理解すると共に、自他を大切にすることを育む。	<u>課題：これまでの学習を振り返り、自分の思いや考えを書こう</u> ①作文用紙に自分の思いを書く。【個人】	★正論を書くのではなく、自分を見つめた結果、どんな考えに至ったかなどを書けるように指導する。

8	<p>とができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを強くもち、相手を意識して、分かりやすく発表することができる。</li> </ul>	<p>課題：自分の思いや考えを伝えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>発表会を行う。【グループ】</li> <li>抽出生徒の発表を聞く。【全体】</li> <li>学習のまとめをする。【全体】</li> <li>感想用紙を切り取り、相手に渡す。【グループ】</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★それぞれの発表の後には、感想用紙に感想や意見を書くように提示する。</li> <li>★心の変容があったり、ジェンダーに対する強い思いをもっていたりする生徒を事前に抽出しておき、その思いをみんなで共有できるようにする。</li> <li>○感想用紙等</li> </ul>
---	--	--	--

#### 4 本時のねらい

友人からの性に関わるカミングアウトに対しての自分が取るべき行動を考えることを通して、それが相手にとってどんな影響を及ぼしているのかがわかり、相手の本質を見極めて接することの大切さを知るとともに、自分の行動の在り方を深く見つめ直すことができる。

#### 5 本時の展開 (5/8)

過程	○学習活動 ・予想される生徒の反応	留意点
導入	<ol style="list-style-type: none"> <li>もし、同性の友人から「自分はゲイ(レズビアン)である」とカミングアウトされたら、自分はどうするか、考えたことを交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>どうしていいかわからないから、誰かに相談したいと思った。</li> <li>誰を好きになるかは自由だと思うから、応援したいと思った。</li> <li>同性を好きになるのは理解できないから、距離をおこうとする。</li> </ul> </li> <li>本時の課題を提示する。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【課題】 もし友人からカミングアウトされたら、自分はどうするだろうか。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時、「同性の友人からカミングアウトされたらどうするか」という視点で自分の考えを書かせ、それをもとに交流する。</li> </ul>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>葛藤を生み出す発問 【あなたは、カミングアウトをした友人と、今まで通り接することができるだろうか。】 ○「今まで通り接することができる」「今まで通り接することが難しい」「悩む」と立場を示してから、自分の思いを記述する。</li> <li>語らいを生み出す活動 【自分の立場をはっきりさせて、仲間と意見を交流しよう】</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「今まで通り接することができる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○○さんであることには違いないから自分は今まで通り接することができる。</li> <li>友達はずごく苦しい中で自分のことを信用して打ち明けてくれたのだから、今まで通り接したいと思う。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「今まで通り接することができない」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分とは考え方が違うと思うから、今まで通り接することが難しいかもしれない。</li> <li>それまで考えてもいなくて、そういう人と接することもなかったからどうしていいかわからない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「悩む」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が恋愛対象になるかも、と考えると悩んでしまう。</li> <li>友達は私を信頼して話してくれたと思うから、今まで通りにしなければいけないけれど、今まで通りできるか悩む。</li> </ul> </div> <p>・自分は、今まで通り接することができると思ったけれど、誰にも</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「できる」、「できない」の単純な選択でなく、「悩む」を位置付けることで生徒が多様な考えをもてるようにする。</li> <li>・「できない」生徒に対して、自分を信頼してくれている相手の気持ちを考えるように促す。</li> <li>・「できる」生徒に対して、誰にも相談することなく相手の気持ちを受け入れることの難しさを考えるように促す。</li> <li>・「できない」側に共感できる思いはないかを考えさせることで自分の中にある弱さを見つめられるようにする。</li> <li>・「できる」生徒で、前時「カミングアウトできない」と答えた生徒を意図的に指名することで、自分の言動が相手に影響を及ぼしていることへの理解につなげる。</li> <li>・そもそも友人が悩んでいることは何かを考えられるようにし、</li> </ul>

	<p>相談できないと思うと、やっぱり悩んでしまう。</p> <p>・今まで通り接することができないと思っていたけれど、自分を信頼して話してくれたから今まで通り接したい。</p>	<p>悩み自体に目を向けさせることで、少数者に対する偏見があることの理解につなげる。</p>
<p>終末</p>	<p>⑤ 本時の感想を書く。</p> <p>私は同性愛を受け入れられるか不安で「悩む」だったが、友達は私を信頼して話してくれたのだからそれに応えたいと思った。友達は周りの人からの偏見に苦しんでいるかもしれないから、相手の立場になって考え、支えていきたいと思う。</p>	<p>評価規準(思・判・表)</p> <p>自分の言動が相手に与える影響の大きさを知り、相手の気持ちに寄り添った言動の在り方を考えようとするができる。</p>